

## **資料 2**

### **令和 4 年度検討経緯の振り返り**

# 目次

**1. 標準仕様書（1.0版）策定経緯**

**2. 標準仕様書（1.1版）策定経緯**

**3. 標準仕様書改版（令和5年度）に向けた申し送り事項**

# **1. 標準仕様書（1.0版）策定経緯**

# 1.標準仕様書（1.0版）策定経緯の振り返り

## 1-1. 検討経緯（概要）

5月から6月にかけて全国意見照会を実施した後、意見を集約、整理した上で、ワーキングチーム及びベンダー分科会で討議を実施し、第1回研究会を経て、標準仕様書（1.0版）を策定しました

業務		4月	5月	6月	7月	8月	
マイルストーン					①ワーキングチーム	①ベンダー分科会	
						① 研究会	
①	標準仕様書案に対する意見照会及び整理		意見照会（調査）		意見集約・整理	標準仕様書の改版に向けた意見照会（調査）結果等の整理・検討	
②	研究会並びにワーキングチーム及びベンダー分科会の開催（上期）	進め方等整理			第1回ワーキングチーム・ベンダ分科会（標準仕様書（案）の確認）		
③	標準仕様書の作成					第1回研究会（標準仕様書決定）	
						細部確認	
						標準仕様書（1.0版）発出	

実施議題	①	ワーキングチーム
	①	ベンダー分科会
	①	研究会

<b>第1回：2022年7月19日</b> 1 意見照会の実施結果 2 機能要件及び帳票要件等に対する論点討議 3 今後の進め方
<b>第1回：2022年7月26日</b> 1 意見照会の実施結果 2 機能要件及び帳票要件等に対する論点討議 3 今後の進め方
<b>第1回：2022年8月23日</b> 1 ワーキングチーム及びベンダ分科会実施報告 2 標準仕様書（1.0版）案の確認及び決定 3 今後の進め方

# 1.標準仕様書（1.0版）策定時の討議内容

## 1-2. 第1回ワーキングチーム／ベンダー分科会

全国意見照会にて事前に収集したご意見を元に集約した論点に沿って討議しました

区分	内容	ワーキングチーム①	ベンダー分科会①	
討議事項	機能要件	① ✓ 政令市向けの機能と要件種別の考え方について	<b>「行政区」に係る機能のみ対象とする（オプション）</b>	左記に異議なし ※政令市向け要件の表記方法について横並び調整が示されれば対応
		② ✓ 「市町村において行われる相談業務」に関する標準化対象機能とする範囲	<b>相談内容の履歴管理機能程度（オプション）</b> ※被保険者以外のメモを登録可能とする	左記に異議なし
		③ ✓ 自治体/年金事務所毎の運用差異についての標準仕様書上の考慮要否	<b>現状を考慮し、受領頻度及び管理項目を見直し</b>	左記に異議なし ※中長期的に、年金機構とのオンライン連携検討に伴い、整理が必要
		④ ✓ 被保険者のその他記録の照会・編集に係る機能の取り扱い	<b>管理項目及び要件種別は現状記載の通りとする</b> ※旧年金番号は管理項目として管理	左記に異議なし
	帳票要件	① ✓ 免除に係る申請の登録・照会・編集機能の管理項目について	<b>現状の整理方針通り</b> ※「免除等区分」は、申請者が記入するため、管理項目とする	左記に異議なし ※要件種別を変更した項目を中心に、事業者にて精査、意見をいただく
		② ✓ 受給権者に係る情報の管理項目について	<b>現状の整理方針通り</b>	左記に異議なし ※要件種別を変更した項目を中心に、事業者にて精査、意見をいただく
		③ ✓ 年金機構への報告対象の識別方法	<b>報告対象を識別する管理項目を設ける</b> ※報告要否の自動設定は要件としない	左記に異議なし

# 1.標準仕様書（1.0版）策定時の討議内容

## 1-3. 第1回研究会

標準仕様書（1.0版）の最終化及び確定にあたり、ワーキングチーム及びベンダー分科会における討議結果を踏まえ、最終的な討議を行いました

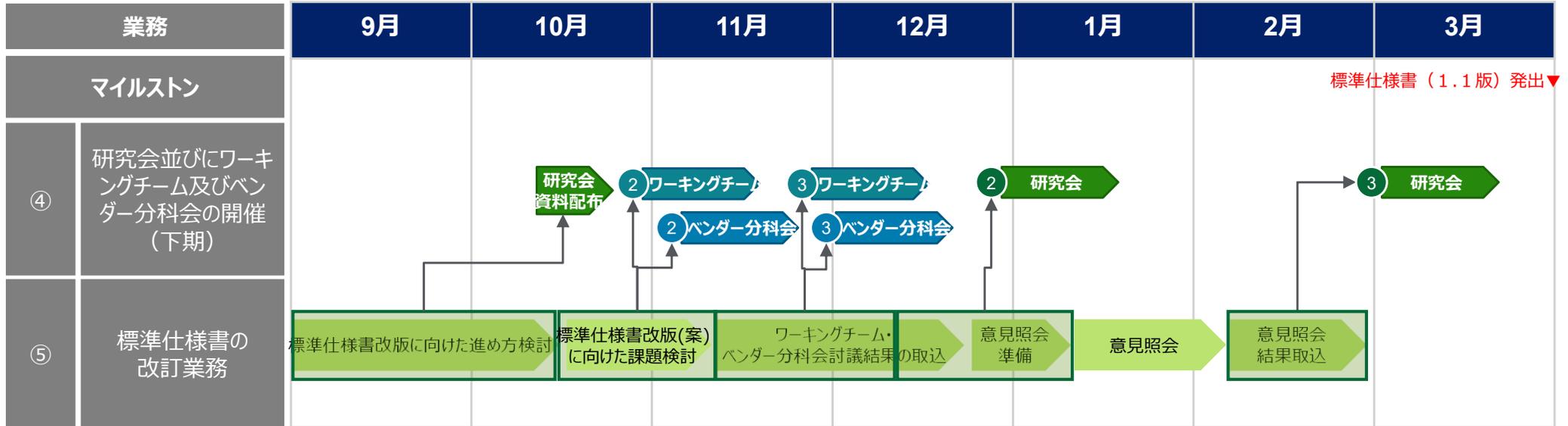
区分		内容		研究会
討議事項	機能要件	①	✓ 業務効率化に寄与する機能の取り扱い (要件種別の確認)	<b>各要件の種別を「オプション」のままとする</b> <small>※要件種別については、下期に継続して検討を行う</small>
		②	✓ 給付・免除に関する判定機能の取り扱い (要件種別の確認)	<b>相談業務にて利用の要望がある機能のため、対象の要件種別を「オプション」とする</b>
		③	✓ 資格喪失(死亡)の資格異動に関する一括処理機能の取り扱い	<b>住民記録システムの異動（死亡）に伴い自動で喪失処理を行うように要件を修正</b> <small>※なお、該当者に対する一括喪失処理は、自動処理とは異なる切り口の要件であるため、要件から削除する</small>
		④	✓ 所得限度額/控除額に登録・修正・削除・照会機能の取り扱い (要件種別の確認)	<b>機能が必要な市町村に限られるため、要件種別を「オプション」とする</b>
		⑤	✓ 各種申請の登録・照会・編集等機能の管理項目について (要件種別の確認)	<b>各要件の種別を「オプション」のままとする</b>
	帳票要件	①	✓ 各種出力機能の取り扱い (要件種別の確認)	<b>各要件の種別を「オプション」のままとする</b> <small>※現状Excel等で管理している「オプション」項目については、システム上での管理を「必須」とする範囲について下期に検討する</small>

## **2. 標準仕様書（1.1版）策定経緯の振り返り**

## 2.標準仕様書（1.1版）策定経緯の振り返り

### 2-1.令和4年度における検討経緯（概要）

9月に中間報告書作成後、研究会、ワーキングチーム及びベンダー分科会を各2回ずつ実施し、第3回研究会を経て、標準仕様書（1.1版）を策定しました



実施議題	ワーキングチーム	<b>② 第2回：2022年10月27日</b> 1 標準仕様書改版(案)に向けた課題検討 (機能・帳票要件、業務フロー等の論点の詳細検討)	<b>③ 第3回：2022年11月18日</b> 1 標準仕様書改版(素案)の確認 2 意見照会の検討
	ベンダー分科会	<b>② 第2回：2022年11月4日</b> 1 標準仕様書改版(案)に向けた課題検討 (機能・帳票要件、業務フロー等の論点の詳細検討)	<b>③ 第3回：2022年11月25日</b> 1 標準仕様書改版(素案)の確認 2 意見照会の検討
	研究会	<b>資料配布：2022年10月20日</b> 1 標準仕様書改版に向けた進め方	<b>② 第2回：2022年12月23日</b> 1 ワーキングチーム及びベンダー分科会開催結果報告 2 標準仕様書改版(案)の確認 3 意見照会対応方針 4 今後の進め方

## 2.標準仕様書（1.1版）策定時の討議内容

### 2-2. 第2回ワーキングチーム／ベンダー分科会

第2回ワーキングチームにて、機能・帳票要件及び帳票詳細要件／帳票レイアウトについて自治体の皆様に討議いただきました  
また、当該討議結果について、第2回ベンダー分科会にて事業者を確認いただきました

区分	内容	ワーキングチーム②	ベンダー分科会②	
討議事項	論点①	✓ 各種業務及び機能要件に関する記載最適化 －資格異動（種別変更）	事務局案のとおりとする	左記に異議なし
		✓ 各種業務及び機能要件に関する記載最適化 －資格異動（海外転出）	<u>自動処理対応はしない</u>	<u>機能要否を要検討</u> ※ <u>自動処理の実績あり</u>
		✓ 各種業務及び機能要件に関する記載最適化 －年金生活者支援給付金	<u>「特定時点」の情報を取得できるように定義。</u> <u>データ保持無。</u>	<u>データ保持を希望、遡求時処理・住基側の連携仕様を要確認</u>
	論点②	✓ 各種一覧の標準仕様書の取り扱い及び要件化範囲	事務局案のとおりとする	<u>EUC機能にて実現は可能だが、連携に関する記載を要精査</u>
	論点③	✓ 計算・判定を行う機能における要件の記載方針	事務局案のとおりとする	左記に異議なし
	論点④	✓ 事務処理基準に基づき受付処理簿に記載する項目のシステム化範囲	<u>討議未了</u> <u>（事後照会にて確認）</u>	<u>自治体意見を踏まえ整理</u> ※ <u>自治体により仕様に差異</u>
	論点⑤	✓ 各種処理条件に関する記載の標準仕様書上の取り扱い及び要件化範囲	<u>要件追加の必要性を精査すること</u>	事業者として 特段の要望無し

## 2.標準仕様書（1.1版）策定時の討議内容

### 2-3. 第3回ワーキングチーム／ベンダー分科会

第3回ワーキングチームにて、機能・帳票要件及び帳票詳細要件／帳票レイアウトについて自治体の皆様に討議いただきました。また、当該討議結果について、第3回ベンダー分科会にて事業者を確認いただきました

区分	内容		ワーキングチーム③	ベンダー分科会③
討議事項	論点①	✓ 事務処理基準に基づき受付処理簿に記載する項目のシステム化範囲	標準仕様書上に管理項目を記載する方針とする	管理項目は任意とせず特定すべき、各項目のシステム上の具備だけでなく、利用状況を確認した上で判断
	論点②	✓ 要件種別定義の基準	事務局案のとおりとする	自団体で利用意思があるかの視点にたって回答いただくべき／過剰な要件を精査する活動と平仄をあわせる
	論点③	✓ 1.0版では標準化対象外とした帳票の標準化範囲	事業者意見も確認の上、判断する	帳票として定めるのであれば帳票詳細要件／レイアウトは定義してほしい
	論点④	✓ 各帳票様式の見直し基準	事務局案のとおりとする	事業者として特段の要望無し

## 2.標準仕様書（1.1版）策定時の討議内容

### 2-4. 第2回研究会

標準仕様書（1.1版）案の最終化にあたり、ワーキングチーム及びベンダー分科会における討議結果を踏まえ、最終的な討議を行いました

検討対象	確認事項		研究会
	内容		
機能・帳票要件一覧	①	事務処理基準に基づく受付処理簿記載項目のシステム化範囲	<b>受付処理簿に関する要件を削除する</b> ※実装不可ではない
	②	業務及び機能要件に関する記載最適化（海外転出）	<b>オプション機能として仕様書に具備する</b>
帳票詳細要件 帳票レイアウト	①	1.0版では標準化対象外とした帳票の標準化範囲	<b>引き続き改善内容を調整する</b>
その他	①	標準仕様書改版に向けた対応事項 	WT/分科会の結果等を確認

## 2.標準仕様書（1.1版）策定時の討議内容

### 2-4. 第2回研究会（標準仕様書（1.1版）に向けた対応事項）

ワーキングチーム及びベンダー分科会で討議を進めてきた事項に加え、討議事項外の要対応事項についても、標準仕様書（1.1版）案に反映した内容を確認いただきました

検討テーマ区分		対応事項
①	新規機能・帳票の追加	■ ワーキングチーム／ベンダー分科会討議結果の反映
②	新規業務（及び機能・帳票）の追加	※該当する事項なし
③	標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化	■ ワーキングチーム／ベンダー分科会討議結果の反映
④	法令・制度改正予定の仕様書への反映	※該当する事項なし
⑤	日本年金機構側の業務変更を伴う事項	※中長期的課題（年金機構と自治体間の報告・送付対象情報及び手段の整理）
⑥	標準仕様書間の横並び調整方針への対応	■ 調整方針に沿って標準仕様書を更新 ・ システム間連携を確保するためID（機能、帳票、データ項目、連携 等）を付番、機能帳票要件一覧に機能の考え方を追記、支援措置対象者情報の管理 等
⑦	共通事項の整備への対応	■ 平仄を合わせる形で標準仕様書を更新 ※デジタル庁が主体となって検討を進めている仕様について、討議が必要な事項は研究会に提示し、標準仕様書改版（案）をとりまとめる

## 2.標準仕様書（1.1版）策定時の討議内容

### 2-5. 第3回研究会（標準仕様書（1.1版）に向けた対応事項）

ワーキングチーム及びベンダー分科会で討議を進めてきた事項、全国意見照会結果に加え、基幹業務に共通する機能について、標準仕様書（1.1版）案に反映した内容を確認いただきました

検討テーマ区分		対応事項
①	新規機能・帳票の追加	■ 全国意見照会結果（指摘）の反映
②	新規業務（及び機能・帳票）の追加	※該当する事項なし
③	標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化	■ 全国意見照会結果（指摘）の反映
④	法令・制度改正予定の仕様書への反映	※該当する事項なし
⑤	日本年金機構側の業務変更を伴う事項	※中長期的課題（年金機構と自治体間の報告・送付対象情報及び手段の整理）
⑥	標準仕様書間の横並び調整方針への対応	■ 横並び調整方針に沿って標準仕様書を更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9.EUC機能（基本的な要件を領域間での平仄をあわせる形に修正）</li> <li>・ 11.引越しOSSに関すること（転入予定者の転出証明書情報の受領機能、他）</li> <li>・ 保存期間を経過した情報の削除に関すること 等</li> </ul>
⑦	共通事項の整備への対応	■ 「実装区分点検結果」の反映 ■ 「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の反映 ■ 「指定都市要件」見直し結果（成案）の反映 ■ 「共通機能技術要件検討会」の検討結果を踏まえた対応

### **3. 標準仕様書改版（令和5年度）に向けた 申し送り事項**

### 3. 標準仕様書改版（令和5年度）に向けた申し送り事項

標準仕様書（第1.1版）には取り込まないこととした検討事項は申し送り事項とし、令和5年度以降、引き続き検討を進めます（令和5年度国民年金システム標準化調査研究事業として実施することを想定しています。）

#### 令和5年度以降の検討課題（申し送り事項）

区分	検討事項（案）	
業務フロー／機能要件	① 年金機構システムとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金機構が管理する情報の国民年金システムにおける取り扱い（登録対象情報（処理結果一覧表等）の整理統合、政府全体のデジタル化方針を踏まえた情報連携のあり方の検討）－中長期的課題－</li> </ul>
全般（本紙／ツリー・フロー／機能要件／帳票要件／帳票詳細要件／帳票レイアウト）	② 基幹業務共通機能仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての標準化対象事務に共通する機能に関する仕様（書）については、デジタル庁が主体となって検討を進めており、市町村基幹業務の標準仕様書は、共通機能に対応した仕様となっているか確認し、整合性を取る必要があります。令和5年度はこれらの共通機能仕様書(※)と標準仕様書（1.1版）との整合性について確認を行い、標準仕様書に必要な見直しを行います。</li> </ul> <p>※共通機能仕様書等            地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書            地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書            標準仕様書間の横並び調整方針            指定都市要件見直し結果（成案）</p>
	③ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書の精度向上のための各種検討</li> </ul>

**EOF**